

広尾町は、北海道十勝管内の最南端に位置し、東は北海道有数の漁業資源を有する太平洋、西は日高山脈の山並みがそびえ立ち、その山系に源を持つ4本の河川が海に注ぎ、豊かな自然を生かした漁業を中心に農林業を基幹産業として発展してきました。このように産業と密接に関わる広尾町の自然を維持するためにも森林整備は大きな意味を持っています。広尾町町有林の内、07年度～12年度の間の間伐が実施される約200haの町有林(カラマツ・トドマツ・ストロブマツ)をプロジェクトの対象地とし、安定的・持続的に二酸化炭素を吸収する森づくりをおこないます。

プロジェクトの実施場所	広尾町有林
吸収量(予測)	年間 956 t-CO <sub>2</sub>
在庫量	766 t-CO <sub>2</sub> (2012年6月時点)
クレジットの次回発行予定	2013年5月
1t-CO <sub>2</sub> あたりの希望単価	10,000円～

広尾町はノルウェー・オスロ市から国外で唯一「サンタランド」として認定されています。サンタランドは、「愛と平和 感謝と奉仕」の理念を多くの皆さんに発信しており、大型商業施設へのクリスマスツリーの提供や、サンタメールなど多種多様な取り組みを行っています。

サンタの森づくりプロジェクトによるクレジットを使用することで、サンタクロースとクリスマスという、夢と心のぬくもりをイメージできるキーワードとならないでしょうか。このキーワードを利用することで、CSR、企業イメージの向上に役立てることと思います。



広尾町有林



サンタランド



広尾町

■担当者連絡先  
水産商工観光課サンタランド係 沖田一美  
TEL: 01558-2-0177  
EMAIL: s-shokokanko@town.hiroo.lg.jp